

「優しいところ」そして  
「あくなき挑戦」  
本物の福祉が  
ここにある！



梓友会法人本部・みくらの里  
静岡県下田市古佐美1086  
tel.0558-27-3000 fax.0558-27-3001



特別養護老人ホーム梓の里  
静岡県下田市加増野181-1  
tel.0558-28-1172 fax.0558-28-1177



特別養護老人ホームみなとの園  
静岡県賀茂郡西伊豆町湊838-1  
tel.0558-82-8111 fax.0558-82-8112



特別養護老人ホーム太陽の里  
静岡県賀茂郡西伊豆町仁科1134  
tel.0558-52-8200 fax.0558-52-8800

<http://www.shiyuukai.or.jp>



# 江渡隆の場合

持友会の人事担当として  
スタッフからの人望も厚い江渡隆。  
その前職は自動車部品メーカーの開発を担う  
敬福エンジニアだった。  
なぜ、まったく知らないの介護と福祉に  
新天地を求めたのだろうか？ その謎に迫る！



その頃、  
私は東京での  
サラリーマンの  
職を辞して...



「あなた、  
介護って  
そんなに  
面白くない  
んじゃないか？」



「地味が嫌れたり、  
色々あってさ、  
今の事業の状況で  
いいのだから、  
職を辞してさ  
多分、」

「何かが欠けて  
いるような  
気がしてさ。」

「興味の仕様が  
変わったんだ  
だったの、  
さうさ、いま、  
辞れてよかったら？」



「下田にこんな  
介護施設あったんだ、  
結構、いいな  
感じもしている  
みたいさ。」

「両伊豆で検索...  
特別養護老人ホーム  
持の甲？」



「そうさ！  
自分も  
行きたかった  
みたいさ。」



「ほんとにいいの？  
だけならいいの？」



「僕が今思っ  
て、  
下田にさ  
あんな施設...  
あったらいいな...」



「突然訪ねていって  
大丈夫だろうか...」



「持の甲の  
こと、  
あなた  
もよく  
知って  
た？」



「ほう、東京から  
の持の甲、  
福祉の事業に  
て興味ある？」

「え、ええ...  
でも介護の  
経験もないし...  
知識もまったくと  
ないです。」

「これが、  
理事長との  
出会いでした。」



「あなたの  
名はあちゃんへの  
思いやり  
感じます。」

「その頃、  
理事長は、  
江渡さん、」



「私は  
自分の今の生活  
結構のことまで  
思いつくが、  
まだまだ  
足りていない。  
理事長は  
やさしい目で  
じっくりと話を  
聞いてくれた。」

次頁に続く!



数年後には5人に1人が六十五歳以上  
7人に1人が認知症という社会が到来  
します。福祉の仕事は、質の高い福祉  
サービスの提供して社会のニーズに応  
え続けることはもちろんのこと、昨今  
メディアで取り上げられている「人が  
集まらない」「職員待遇が悪い」など、この  
業界の労働集約型ワークスタイルの問  
題解決にも積極的に取り組んでいく必  
要に迫られています。

福祉や介護に関する悲しいニュースが新聞や  
テレビをにぎわす今だからこそ、真面目に真摯に、  
そして情熱的にこの仕事に取り組んでいきたいと  
私は考えているんです。「人を支える仕事」に意味を  
見出せるのは、唯一「人」が「人」に対して抱く普遍的  
「優しい心ころ」。この基本はどんな世の中になろうと  
**変わらない、いや変わってはいけません！**  
しかし、福祉を取り巻く社会ニーズに  
柔軟に対応し変化していくことも

**変わってはいけません！**

今でも「学習療法」の取り組み、ISOや  
第三者評価を取り入れた透明性のあるケアを  
心がけているが、現状に満足することなく  
今後も新しい、そして

質の高い福祉サービスの実現に向けて

**チャレンジし続けていくつもりだ!!**

ここなら社会の  
役に立っている  
という美意識を  
持って  
働けそうだ！

